

《正誤表》

書名 : 第一級陸上特殊無線技士試験 集中ゼミ 第2版

版数 : 第2版2刷(2010年8月20日)

ページ	場所	誤	正
36	試験の直前 Check! 2行目	π 形抵抗減衰回路： $\frac{1}{n} = \frac{R^2 R_L}{R_1 R_2 + R_2 R_L + R_L R_1}$	π 形抵抗減衰回路： $\frac{1}{n} = \frac{R_2 R_L}{R_1 R_2 + R_2 R_L + R_L R_1}$
37	問題2「解説」7行目	入出力電圧の減衰量 $1/n$ は、入出力インピーダンスが R_L なので、～	入出力電圧の減衰量 $1/n$ は、入出力抵抗が同じ $R_L = R_L$ なので、～
110	問題6「解説」6行目	ただし、3dbの真数は2.	ただし、3dBの真数は2.
131	問題8「解説」2行目	～ アクセスする地球局数が増加するにつれて中継器の伝送容量が減少する.	～ アクセスする地球局数が増加するにつれて中継器の回線効率が悪くなる.
168	問題12 1行目	次の記述は、VHFおよびUHFで～	次の記述は、VHFおよびUHF帯で～
173	問題5 5行目	失を0.2dBとする. また、～	失を0.2dB/mとする. また、～
	問題5「解説」4行目	～ および長さを L_T, L_R [dB], $l_T,$	～ および長さを L_T, L_R [dB/m], $l_T,$
175	問題9「解説」2行目	～ 長さを L_T, L_R [dB], l_T, l_R [m]	～ 長さを L_T, L_R [dB/m], l_T, l_R [m]
177	下から3行目	$n=1.000325$	$n=1.000315$
178	上から10行目	～ $n=1.000325$ のとき $M=325$ である.	～ $n=1.000315$ のとき $M=315$ である.
197	問題7 7行目	5 浮動充電すると、鉛蓄電池単体～	5 浮動充電にすると、鉛蓄電池単体～
223	問題5 6行目	3 伝送系ひずみや雑音が～	3 伝送系のひずみや雑音が～
232	上から2行目	③ 空中線電力が0.01W以下である～	③ 空中線電力が1W以下である～
233	試験の直前 Check! 4行目	～ 空中線電力0.01W以下で適合表示無線設備.	～ 空中線電力1W以下で適合表示無線設備.
273	問題5 4～6行目	① 無線局(総務省令で定める無線局を除く.)の免許人等(「免許人又は登録人」のこと.以下同じ.)又は電波法第70条の9(免許人以外の者による特定の無線局の簡易な操作による運用)第1項の～	① 無線局(総務省令で定める無線局を除く.)の免許人等(「免許人又は登録人」のことをいう.以下同じ.)又は電波法第70条の9(登録人以外の者による登録局の運用)第1項の～

—以上—